

入院診療計画書② 突発性難聴の治療を受ける患者さまへ

ID	患者ID	新規作成日	新規作成日
氏名	氏名		

日付								
経過	入院日	1日後	2日後	3日後	4日後	5日後	6日後	7日後
目標	不安の表出ができる 自己管理ができる 治療について理解できる							日常生活の注意点について理解できる
注射	ステロイドの点滴を行います。点滴の針は基本的に1週間で刺し替えます。							朝食前にステロイドの点滴を行います。点滴終了後に針を抜きます。
投薬	基本的に持参のお薬は全て内服してもらいます。点滴と同様の内服がある際など不要な薬については看護師から説明をさせていただきますのでお薬は全て申告してください。 ★内服薬を開始します。							退院翌日に内服していただくお薬をお渡しします。
検査	採血 聴力検査 ・ 平衡機能の検査 心電図の検査	適宜聴力検査があります。					採血	
放射線	胸部X線撮影 内耳道MRI撮影							
処置	適宜医師から説明があります。 耳にステロイドの注射を行います。耳に麻酔をかけてから注射を行います。 注射後30分は飲食できません。唾液も吐き出してください。							
食事	常食または治療食が出ます。 栄養状態や、既往歴に合わせて栄養士が訪問することがあります。							
清潔	検査データを確認しながら、入浴、シャワー浴をしていきます。入浴、シャワー浴は予約制です。ご希望時は看護師へお知らせください。 入浴、シャワー浴時、点滴の入っている部分は保護します。							
排泄	トイレは歩いて行けます。・症状により看護師が付き添わせていただいたり、車椅子での移動になります。 毎朝、前日の排泄回数を確認します。ステロイドの副作用で便秘になることがあります。その際には看護師までお知らせください。							
活動	安静度 ・医師の許可があれば点滴前に入院準備のための外出ができます。 ・特に活動の制限はありませんが、ステロイド開始に伴い抵抗力の低下を起こします。基本的に外出・外泊はできません。 ・転倒転落に注意してください。	リハビリ リハビリテーションの予定はありません。						
看護ケア	・一日2回検温します。	・午前と午後に検温します。					朝のみ検温します。	
	・症状や不安な事をお尋ねします。							
	・入院中の生活について説明します。 ・今までの経過などをお伺いし、治療計画について説明します。	・朝起きたら体重と血圧を測定してください。						
指導	※注意：聞こえの良い方の耳で話を聞きましょう。口元を見るのもいいです。無理に聞こうとせず筆談、メモを用いて会話することも工夫の一つです。ご家族はゆっくり、普通の声で話し、口元を見せながら会話しましょう。		※ステロイドを使用することで注意していただくことがあります。 ・抵抗力が低下するため、手洗い、うがい、歯ブラシをしっかりと行ってください。 ・食欲が増進しますので、病院食以外は召し上がらないよう注意してください。 ・便秘になりやすくなります。水分をしっかりとって、腹部のマッサージを心がけましょう。				退院後の生活について説明します。特に制限はありませんが、ステロイド使用により、だるさなどの症状が出る場合があります。徐々に身体を慣らし生活を拡大していきましょう。 また、免疫力が低下しているため、風邪等を引きやすい状態です。手洗い、うがいをしっかりと行なうようにしましょう。約1か月後に再診があります。	